

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

平成30年度 川崎アゼリア株式会社「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

- 資料1 経営改善及び連携・活用に関する取組評価（川崎アゼリア株式会社）
- 参考資料1 経営改善及び連携・活用に関する方針（川崎アゼリア株式会社）

令和元年8月23日

経済労働局

経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (平成30(2018)年度)

法人名(団体名) 川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
---------------------	-----	-----------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

・周辺の各大型商業施設や商店街と地下空間で繋がるメリットを活かし、魅力的な商業施設として運営することで、川崎駅周辺における集客や回遊性の向上、賑わいの創出を図ります。また、川崎駅周辺の開発動向等に対応しながら、当該エリアの中心的な商業施設として商業活性化を推進します。

・川崎駅前広場の人車分離により歩行車の安全性を確保するため、市民が安全で快適に通行できる公共地下歩道を管理運営するとともに、川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車を解消するため、公共地下駐車場を適切に管理運営します。

・川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会が策定した「川崎駅周辺の災害時における行動ルール」において、駅周辺で最も収容力の高い一時滞在施設として位置付けられていることから、帰宅困難者対策等で地域社会に貢献します。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		活力と魅力あふれる力強い都市づくり	魅力と活力のある商業地域の形成
	分野別計画	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興プラン ・商業振興ビジョン 	

4カ年計画の目標

・安全・安心・快適な公共地下歩道、公共地下駐車場、店舗設備環境等を提供します。

計画的な施設・設備の整備・更新するとともに、環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理を実施します。

・顧客に支持される、魅力のある店舗を提供します。

ライフシェアモールの理念のもとに、川崎アゼリアの将来にわたる持続的発展に向けた施設運営を行います。日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、売上増を目指します。リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより施設全体の活性化、店舗売上の向上を図ります。また、効果的なプロモーションの展開により、新生アゼリアのブランディングと店舗売上の促進を図るとともに、リニューアルに当たって作成したデザインの基準に則り、各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進します。

・アゼリアの公共的施設としての役割を的確に担うとともに地域社会への貢献を一層推進します。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	施設環境整備事業	計画的な施設・設備の整備・更新	%	30.8	48.1	48.5	a	C	II
		環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施	該当年度t-co2/基準年度t-co2	1.236	1.1645	1.210	b		
		通行者数	千人	291	291	275	c		
		駐車台数確保	台	362	362	362	a		
		事業別の行政サービスコスト (①～③事業合計)	千円	185,230	215,971	161,301	1)		
②	店舗活性化推進事業	店舗売上高	百万円	15,910	16,021	16,312	a	A	I
		店舗レジ客数	百万人	11.3	11.4	11.4	a		
③	地域社会への連携・貢献事業	帰宅困難者対策訓練	回	1	1	1	a	A	I
		チャリティーコンサート開催	回	2	2	2	a		

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	財務の改善	有利子負債の削減	百万円	9,951	8,796	8,796	a	A	I

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	法令順守の取組	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

全般にわたり概ね目標を達成し、川崎駅周辺における商業活性化に寄与しており、本市が求める役割を果たしています。特に、当社の経営面で肝となる「店舗活性化推進事業」において、日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、また、効果的なプロモーションの展開により各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進した結果、目標を達成したことは評価できます。

「施設環境整備事業」の成果指標「通行者数」(平日)については、目標未達成であります。休日は前年度を大きく上回っており、前述のとおり、店舗売上高や店舗レジ客数が目標を達成していることを踏まえると、川崎駅周辺における集客や回遊性の向上、賑わいの創出に寄与していると考えられます。

今後も、川崎駅周辺の開発動向等に対応しながら、当該エリアの中心的な商業施設として商業活性化を推進するとともに、経営健全化に向けて、具体的な増収策の実施、また、抜本的な経費の見直しによる収支改善の取組を推進することを期待します。また、引き続き、市民が安全で快適に通行できる公共地下歩道及び公共地下駐車場のサービス提供を行うとともに、帰宅困難者対策等で地域社会へ貢献することを期待します。

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(平成30(2018)年度)	
事業名	施設環境整備事業
計 画 (Plan)	
指標	①計画的な施設・設備の整備・更新、②環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施、③通行者数、④駐車台数確保
現状	① お客様及びテナントに安全・安心・快適な施設空間を永続的に提供するため、計画的に施設・設備の整備及び更新を行っています。 ② ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギーに向けた取り組みを行っています。 ③ 平成30年度 275千人 ④ 平成30年度 362台(四輪347台 二輪15台)
行動計画	① 施設・設備の安全・安心・快適性を維持し、高めていくために、劣化診断等に基づいた計画的な整備及び更新を推進するとともに、施設・設備の快適性等に配慮した的確な維持管理を行います。 ② 施設整備及び維持管理に当たっては、効率性、経済性を発揮するとともに、ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等にも最大限の配慮をばらうこととします。 ③ 施設・設備の安全・安心・快適性を維持し、川崎市民等の顧客への良好なサービス水準を維持する。 ④ 公共地下駐車場の管理・運営による川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車への解消に努めます。
具体的な取組内容	1 劣化診断等に基づいた計画的な整備及び更新の推進、的確な維持管理を行います。 2 施設整備及び維持管理に当たっては、ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等にも最大限の配慮をばらうこととします。 3 安全・安心できる施設・空間づくりを推進し、平成29年度実績の維持を目指します。 4 安全・安心できる施設・空間づくりを推進し、平成29年度実績の維持を目指します。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 平成30年度においても、計画的な機器更新計画に基づき整備を実施しました。空調設備においては、インバータ盤、空調監視盤、冷水発生機の部分更新を行いました。衛生設備においては、排水管の更新を行い、防災設備においては、ITV設備の部分更新を行いました。また、セキュリティ向上のためアゼリア全体の鍵を更新しました。 これらの計画的更新工事を実施することにより、お客様及びテナントに引き続き、安全・安心・快適な施設を提供していきます。
	【指標2関連】 快適な地下街を維持する為、平成19年度から省エネルギー性に優れた水和物スラリ蓄熱空調システムを導入しています。年間を通じて、きめ細かく空調機器の温度管理を行い、冷水発生機の運転方法を調整することにより、より一層のエネルギー量、CO2の削減を実施しました。
	【指標3関連】 年間を通じて、計画に基づき快適で心地よい施設環境、施設空間づくりを推進し通行者数の維持を図りました。平日の通行者数は、川崎駅北口改札の新設に関連し、特に中央(S4)階段の利用者の減少(23千人減)により、アゼリア全館としては前年に対し16千人の減少となったものの、一方で、休日の通行者数は、アゼリア全館として前年に対し38千人増加しました。 平成30年度実績 平日 275千人 (前年度実績比 16千人減少) 同 休日 289千人 (同 38千人増加) * 調査日:平成30年8月24日(金)、25日(土)
	【指標4関連】 アゼリア地下2階に併設された地下駐車場は、川崎駅東口の公共駐車場としての役割も担っています。駐車台数は、四輪347台、二輪15台、合計362台もの規模であり、適正な管理・運営を行い、駐車台数の確保に努めました。
	【その他】

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	計画的な施設・設備の整備・更新	目標値	30.8	48.1	65.4	82.7	100	%
	説明 計画的な整備及び更新に努める	実績値		48.5				
2	環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施	目標値	1.236	1.1645	1.093	1.0215	0.95	該当年度t-co2/基準年度t-co2
	説明 ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等に配慮した施設維持に努める	実績値		1.210				
3	通行者数	目標値	291	291	291	291	291	千人
	説明 快適で心地よい施設環境、施設空間づくりを推進し、通行者数の維持を図る ※個別設定値:276(現状値の95%)	実績値		275				
4	駐車台数確保	目標値	362	362	362	362	362	台
	説明 公共地下駐車場の管理・運営による川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車等の解消に努める ※個別設定値:344(現状値の95%)	実績値		362				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	b	
指標3 に対する達成度	c	
指標4 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

指標1 計画的な設備更新を、年度更新計画に従い着実に実施しました。
 指標2 年間を通じて、エネルギー量の削減を実施しましたが、猛暑日等の増加から冷房多用となり、目標値に届きませんでした。
 指標3 快適で心地よい施設環境、施設空間づくりを推進した結果、平日の通行者数は目標を達成できなかったものの、休日の通行者数は前年度を上回ることができました。
 指標4 適正な管理・運営により、駐車台数の確保に努めました。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト (①～③事業合計)	目標値	185,230	215,971	203,457	215,971	203,457	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値		161,301				
行政サービスコストに対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

各種委託業務の仕様の見直しによる業務委託費の削減、また、広告宣伝方法の見直しによる広告宣伝費の削減など、収支改善の取組の推進により、行政サービスコストは目標を達成することができました。

	費用対効果 <small>(「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)</small>		区分	区分選択の理由
	(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2)	一部、目標未達成の指標もありましたが、本市施策推進に向けた事業取組①～③全体を通じては、概ね目標を達成するとともに、行政サービスコストも目標値の範囲内であり、川崎駅周辺における集客や回遊性の向上、賑わいの創出、商業活性化、防災・減災意識高揚に寄与したため。	

改善 (Action)		
実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

本市施策推進に向けた事業取組②(平成30(2018)年度)	
事業名	店舗活性化推進事業
計 画 (Plan)	
指標	①店舗売上高、②店舗レジ客数
現状	日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、売上増を目指すとともに、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより施設全体の活性化、店舗売上の向上を図っています。また、効果的なプロモーションの展開により、アゼリアのブランディングと店舗売上の促進を図るとともに、リニューアルに当たって作成したデザインの基準に則り、各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進しています。
行動計画	現状の継続実施を基本とし、日々の店舗管理、店舗指導を的確に行うことでより一層の売上増を目指します。また、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、施設全体の活性化を推進するとともに、店舗売上の向上を図ります。さらに、効果的なプロモーションの展開により各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進します。
具体的な取組内容	日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、売上増を目指すとともに、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより施設全体の活性化、店舗売上の向上を図ります。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、また、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックス(業種業態・店舗構成)を実現することにより施設全体の活性化、店舗売上増を図りました。
	【指標2関連】 日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、効果的なプロモーションの展開により、各テナントと共に店舗レジ客数増を図りました。
	【その他】 近隣商業施設や商店街のイベント(カワサキハロウィン・アジアンフェスタなど)にも積極的に参加し、アゼリアの回遊性を高め、川崎駅周辺の活性化に貢献しました。

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	店舗売上高	目標値	15,910	16,021	16,192	16,192	16,192	百万円
	説明 店舗活性化推進を図るための一つの指標となる ※個別設定値: 15,115(現状値の95%)	実績値		16,312				
2	店舗レジ客数	目標値	11.3	11.4	11.5	11.5	11.5	百万人
	説明 店舗活性化推進を図るための一つの指標となる ※個別設定値: 10.7(現状値の95%)	実績値		11.4				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		a						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
指標1 日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、また、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより施設全体の活性化、店舗売上の向上に取り組んだことで、店舗売上高は目標値を上回ることができました。 指標2 日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、また、効果的なプロモーションの展開により各テナントと共に、店舗レジ客数増に取り組んだことで、店舗レジ客数は目標値を達成することができました。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

本市施策推進に向けた事業取組③(平成30(2018)年度)	
事業名	地域社会への連携・貢献事業
計 画 (Plan)	
指標	①帰宅困難者対策訓練、②チャリティーコンサート
現状	① 帰宅困難者対策訓練 平成30年度 実施 1回 ② チャリティーコンサート 平成30年度 実施 2回
行動計画	① 市と連携し、大震災発生時の川崎駅周辺における帰宅困難者による混乱の抑制に向けた避難誘導及び一時滞在施設開設訓練を実施し、行動ルールの検証を行います。 ② 川崎市と関連のある演奏家によるチャリティーコンサートを開催することで、地域社会への連携・貢献を強めるとともに、熊本地震及び東日本大震災復興支援を行います。
具体的な取組内容	最大震度6強の地震を想定し、川崎駅周辺の帰宅困難者を川崎アゼリアの地下1階を一時滞在施設として提供します。 チャリティーコンサートを年間2回開催し、地域社会への連携・貢献を強め、熊本地震及び東日本大震災の復興支援を行います。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 2018.2に供用を開始したJR川崎駅北口部分を活用し、プロジェクターやスピーカー、「一時滞在マップ」を用いて、駅前滞留者の誘導の円滑化を図るため、2018.11.21JR川崎駅北口において実施された平成30年度川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練に参加しました。また、川崎市危機管理地域協議会の臨海部・帰宅困難者対策部会に2回、川崎市危機管理地域協議会の全体会に1回参加しました。</p>
	<p>【指標2関連】 2018.4.6 「大谷康子ストリングス」スペシャルコンサートを実施しました。 2018.8.30 「国分弘子スペシャルトリオ」チャリティーコンサートを実施しました。</p> <p>【その他】 2018.11.9に東京オリンピック・パラリンピック等大規模イベントの開催を控え、一般市民を対象とした化学テロ災害発生時における初動対応能力向上、他機関との連携強化を目的として、川崎消防署、臨港消防署、川崎警察署、第一機動隊及び川崎区役所と合同で川崎アゼリア化学テロ災害対応訓練を実施しました。 2018.11.9～13に福島県物産展、2018.12.13～17に岩手県物産展を開催しました。観光客及び特産品売上の減少が大きな課題となっている東北被災3県(福島県・岩手県・宮城県)の復興支援を目的としたイベントを2017年度実施しましたが、2018年度は、福島県、岩手県がそれぞれ単独での物産展の開催となりました。</p>

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	帰宅困難者対策訓練	目標値	1	1	1	1	1	回
	説明 最大震度6強の地震を想定し、川崎駅周辺の帰宅困難者を川崎アゼリアの地下1階を一時滞在施設として提供します。	実績値		1				
2	チャリティーコンサート開催	目標値	2	2	2	2	2	回
	説明 川崎市のイメージアップに貢献	実績値		2				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		a						

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

市と連携して、帰宅困難者対策訓練に参加しました。また、川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会等に参画することで、市および周辺事業者との共通認識を図りつつ、加えて県警・市とともに化学テロ災害対応訓練に参加し、行動ルールの検証を行うとともに災害に対する防災・減災意識高揚に寄与しました。

川崎市と関連のある演奏家によるチャリティーコンサートを年間2回実施することで地域社会への連携・貢献を強めるとともに熊本地震及び東日本大震災復興支援を行いました。

	区分	区分選択の理由
<div style="font-size: 2em; color: green;">➔</div> 本市による評価	達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 成果指標である「帰宅困難者対策訓練」、「チャリティーコンサート」については、目標どおりの回数を実施するとともに、川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会や化学テロ災害対応訓練にも積極的に参加するなど、防災・減災意識高揚に寄与したため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止
		帰宅困難者対策訓練、チャリティーコンサートについては、計画に沿って実施していきます。

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

3. 経営健全化に向けた取組①(平成30(2018)年度)

項目名	財務の改善
計 画 (Plan)	
指標	有利子負債の削減
現状	平成30年度から、平成27年度に借入れた6,500百万円の元本返済が開始。金融機関への約定に基づく借入金返済により有利子負債の削減に取り組みます。
行動計画	約定どおり返済を行い有利子負債の削減に取り組みます。
具体的な取組内容	資金不足にならないように資金計画を策定し、約定どおり返済を行い有利子負債の削減に取り組みます。



実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	【指標1関連】 有利子負債の削減については、資金計画に基づき着実に借入金の約定返済を行いました。また、増収策の実施や経費の見直しによる収支改善の取組を推進しました。
	【その他】



評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	有利子負債の削減	目標値	/	8,796	7,680	6,659	5,780	百万円
	説明 約定返済による借入金残高削減	実績値	9,951	8,796				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
----------------	---	---

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

目標どおりに達成しており、令和元年度以降についても着実に取り組み目標を達成してまいります。

<div style="background-color: #76923c; color: white; padding: 10px; font-weight: bold;"> 本市による評価 </div>	達成状況	区分	A	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	約定に基づく借入金返済を着実にを行った結果、成果指標である「有利子負債の削減」は、目標値どおり達成するとともに、増収策の実施や経費の見直しによる収支改善の取組を推進するなど、経営健全化に寄与したため。	

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

4. 業務・組織に関する取組①(平成30(2018)年度)

項目名	法令順守の取組
計 画 (Plan)	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	内部統制システムの基本方針を改正、コンプライアンスマニュアルを整備
行動計画	役員・社員等に対しコンプライアンス遵守を促す取組の実施
具体的な取組内容	コンプライアンスに関する意識の維持向上を図るため、役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認を行った。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 会社としてコンプライアンスに関する意識の維持向上を図るための取組として、役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認を行ったことから、コンプライアンスに反する事案の発生はありませんでした。
	【その他】

評価 (Check)								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	0	0	0	0	0	件
	説明 会社として法令等順守の徹底を図ります。	実績値		0				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
コンプライアンスに反する事案の発生はありませんでした。								



達成状況	区分	区分選択の理由
A	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認を行うなど、コンプライアンスに関する意識の維持向上を図った結果、成果指標である「コンプライアンスに反する事案の発生件数」は0件であり、目標を達成したため。

改善 (Action)		
実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 コンプライアンスに関する意識の維持向上を図るため、役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認を行います。

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
損益計算書	営業収益	3,206,679			
	営業費用	3,578,983			
	営業損益	△372,304			
	経常損益	△370,221			
	当期損益	△377,826			
貸借対照表	総資産	18,598,331			
	流動資産	1,654,878			
	固定資産	16,943,453			
	総負債	12,302,872			
	流動負債	2,139,375			
	固定負債	10,163,496			
	純資産	6,295,460			
	資本金	5,000,000			
剰余金等	1,295,460				
エラーチェック		OK	OK	OK	OK

本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金					
委託料	77,653				
指定管理料					
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出資金(年度末状況)	2,142,735				
(市出資率)	42.8%				

財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		77.4%			
純資産比率(純資産/総資産)		33.8%			
純資産利益率(当期損益/純資産)		-6.0%			
総資産回転率(営業収益/総資産)		17.2%			
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/営業収益		2.4%			

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
営業活動の強化等により営業収益は前年度に対して増収を達成、また営業費用も経費の見直し等に取り組んだことにより前年度に対して削減し、収支改善により当期損失としては前年度に対して削減することができました。	川崎駅周辺の大型商業施設等の新規・リニューアルオープンなどで周辺商業環境が一段と厳しさが増すことが見込まれますが、営業活動の強化等による店舗入替え及び物販催事の各広場活用による賃料増、広告施設収入増などの増収策の実施、業務仕様見直しによる委託費及び広告宣伝費の抑制・削減などの経費見直しにより収支改善に努めていきます。	増収策の実施や経費の見直しにより、営業収益は対前年度増収、営業費用は対前年度削減を達成し、当期損失は前年度より削減できたことは評価できます。今後は、これまでの取組を継続するとともに、アゼリアを取り巻く周辺商業環境が一段と厳しさを増していくことも踏まえ、さらなる増収策や経費の見直し策を検討・実施するなど、より一層、早期に経営健全化を図ることができるよう、収支改善の取組を推進することを期待します。

(2)役員・職員の状況(令和1年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	4		2	8	1	1
職員	36		2	2		2

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性

経営改善及び連携・活用に関する方針 (平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

法人名(団体名) 川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------------------------	------------	-----------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の施策概要

- (1) 法人の事業概要
川崎駅前立地を生かして次の事業を通じて、商業施設としてのイメージアップや集客の向上を図ります。ア: 公共地下道、公共地下駐車場、店舗等の管理運営事業、イ: 不動産賃貸業、ウ: 駐車場業・広告業・催事事業等
- (2) 法人の設立目的
市民が安全で快適に利用できる公共地下歩道や公共駐車場を適切に維持管理するとともに、川崎駅周辺の各大型商業施設及び商店街と地下空間で繋がり、魅力的な商業施設としての運営をすることで、川崎駅周辺市街地における商業活性化の中核的な役割を担います。
- (3) 法人のミッション
- ① 駅周辺商業施設の集客を高め、中心的な商業施設として活動します。
 - ② 川崎市のイメージアップに資する明るく楽しい地下空間を創出します。
 - ③ 公共地下歩道を設け、川崎駅前広場の人車分離により歩行者の安全性を確保します。
 - ④ 公共地下駐車場の管理・運営による川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車等の解消に努めます。

本市施策における法人の役割

- ・周辺の各大型商業施設や商店街と地下空間で繋がるメリットを活かし、魅力的な商業施設として運営することで、川崎駅周辺における集客や回遊性の向上、賑わいの創出を図ります。また、川崎駅周辺の開発動向等に対応しながら、当該エリアの中心的な商業施設として商業活性化を推進します。
- ・川崎駅前広場の人車分離により歩行者の安全性を確保するため、市民が安全で快適に通行できる公共地下歩道を管理運営するとともに、川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車等を解消するため、公共地下駐車場を適切に管理運営します。
- ・川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会が策定した「川崎駅周辺の災害時における行動ルール」において、駅周辺で最も収容力の高い一時滞在施設として位置付けられていることから、帰宅困難者対策等で地域社会に貢献します。

		基本政策	施策
法人の取組と関連する計画	市総合計画における位置づけ	活力と魅力あふれる力強い都市づくり	魅力と活力のある商業地域の形成
	分野別計画	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興プラン ・商業振興ビジョン 	

現状と課題

- (現状)
- ・昭和61年10月から川崎駅東口駅前広場地下で地下街『アゼリア』を管理・運営しており、地下1階に約150店舗で構成する商業ゾーンと地下歩道・広場、地下2階に自動車347台、バイク15台収容の自走式駐車場ゾーン、これらに付帯する機械室等を配置して、地域経済活性化、駅前広場周辺の利便性・回遊性向上に寄与しています。
 - ・川崎市から東口駅前広場施設等の維持管理を受託し、川崎駅前の地下、地表一体となった総合的管理業務を効率的・効果的に行っています。
 - ・「安全・安心かつ快適に買い物やサービスを楽しんで頂ける施設・空間づくり」を実践していくため、計画的な施設整備及び施設更新を実施することはもとより、施設の集客力を高める施策として魅力的かつ収益性の高い店舗の誘致に努める必要があり、大規模リニューアル工事を実施し、平成28年3月にオープンしました。
- (課題)
- ・新生アゼリアの店舗施設運営において、「ライフシェアモール」の理念のもとに、川崎アゼリアの将来にわたる持続的発展に向けた施設運営を行うため、日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、売上増を目指すとともに、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより施設全体の活性化、店舗売上の向上を図っていくこと
 - ・効果的なプロモーションの展開により、アゼリアのブランディングと店舗売上の促進を図るとともに、リニューアルに当たって作成したデザインの基準に則り、各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進していくこと
 - ・公共的な地下施設としての特性、役割を生かし、帰宅困難者対策等で地域社会に貢献すること

取組の方向性

- (1) 経営改善項目
- ・具体的な増収策、抜本的な経費の見直しによる収支改善の取組の推進
 - ・各ゾーンの最適なテナントミックスを実現することによる施設全体の活性化及び店舗売上の向上
 - ・効果的なプロモーションの展開による新生アゼリアのブランディングと店舗売上の促進
 - ・各テナントと連携した快適で心地良い施設環境、施設空間づくりの推進
 - ・勤務形態の合理化及び効率化並びに組織・機構の適正化の推進
- (2) 本市における法人との連携・活用
- ・川崎駅周辺における集客や回遊性の向上、賑わいの創出、商業活性化の推進
 - ・市民が安全で快適に利用できる公共地下歩道及び公共駐車場の管理運営
 - ・川崎駅周辺の帰宅困難者対策等の推進

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

4カ年計画の目標

・安全・安心・快適な公共地下歩道、公共地下駐車場、店舗設備環境等を提供します。
 計画的な施設・設備の整備・更新するとともに、環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理を実施します。
 ・顧客に支持される、魅力のある店舗を提供します。
 ライフシェアモールの理念のもとに、川崎アゼリアの将来にわたる持続的発展に向けた施設運営を行います。日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、売上増を目指します。リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより施設全体の活性化、店舗売上の向上を図ります。また、効果的なプロモーションの展開により、新生アゼリアのブランディングと店舗売上の促進を図るとともに、リニューアルに当たって作成したデザインの基準に則り、各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進します。
 ・アゼリアの公共的施設としての役割を的確に担うとともに地域社会への貢献を一層推進します。

本市施策推進に向けた事業計画

取組№	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	施設環境整備事業	計画的な施設・設備の整備・更新	30.8	48.1	65.4	82.7	100.0	%	
		環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施	1,236	1,1645	1,093	1,0215	0.95	t-co2	
		通行者数	291	291	291	291	291	千人	
		駐車台数確保	362	362	362	362	362	台	
		事業別の行政サービスコスト(①～③事業合計)	185,230	215,971	203,457	215,971	203,457	千円	
②	店舗活性化推進事業	店舗売上高	15,910	16,021	16,192	16,192	16,192	百万円	
		店舗レジ客数	11.3	11.4	11.5	11.5	11.5	百万人	
③	地域社会への連携・貢献事業	帰宅困難者対策訓練	1	1	1	1	1	回	
		チャリティーコンサート開催	2	2	2	2	2	回	

経営健全化に向けた事業計画

取組№	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	財務の改善	有利子負債の削減	9,951	8,796	7,680	6,659	5,780	百万円	

業務・組織に関わる計画

取組№	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	法令順守の取組	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件	

2. 本市施策推進に向けた事業計画①

事業名		施設環境整備事業							
指標		①計画的な施設・設備の整備・更新、②環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施、③通行者数、④駐車台数確保							
現状		① お客様及びテナントに安全・安心・快適な施設空間を永続的に提供するため、計画的に施設・設備の整備及び更新を行っています。 ② ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギーに向けた取り組みを行っています。 ③ 平成29年度 291千人 ④ 平成29年度 362台(四輪347台 二輪15台)							
行動計画		① 施設・設備の安全・安心・快適性を維持し、高めていくために、劣化診断等に基づいた計画的な整備及び更新を推進するとともに、施設・設備の快適性等に配慮した的確な維持管理を行います。 ② 施設整備及び維持管理に当たっては、効率性、経済性を発揮するとともに、ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等にも最大限の配慮をばらうこととします。 ③ 施設・設備の安全・安心・快適性を維持し、川崎市民等の顧客への良好なサービス水準を維持する。 ④ 公共地下駐車場の管理・運営による川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車等の解消に努めます。							
スケジュール		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
指標	1	計画的な施設・設備の整備・更新		30.8	48.1	65.4	82.7	100.0	%
		説明 計画的な整備及び更新に努める							
	2	環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施		1.236	1.1645	1.093	1.0215	0.95	t-co2
		説明 ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等に配慮した施設維持に努める							
	3	通行者数		291	291	291	291	291	千人
		説明 快適で心地よい施設環境、施設空間づくりを推進し、通行者数の維持を図る							
	4	駐車台数確保		362	362	362	362	362	台
		説明 公共地下駐車場の管理・運営による川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車等の解消に努める							
	5	事業別の行政サービスコスト (①～③事業合計)		185,230	215,971	203,457	215,971	203,457	千円
		説明 直接事業費－直接自己収入							

本市施策推進に向けた事業計画②

事業名		店舗活性化推進事業						
指標		①店舗売上高、②店舗レジ客数						
現状		日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、売上増を目指すとともに、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより施設全体の活性化、店舗売上の向上を図っています。また、効果的なプロモーションの展開により、アゼリアのブランディングと店舗売上の促進を図るとともに、リニューアルに当たって作成したデザインの基準に則り、各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進しています。						
行動計画		現状の継続実施を基本とし、日々の店舗管理、店舗指導を的確に行うことでより一層の売上増を目指します。また、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、施設全体の活性化を推進するとともに、店舗売上の向上を図ります。さらに、効果的なプロモーションの展開により各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進します。						
スケジュール		現状値	目標値					単位
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	店舗売上高	15,910	16,021	16,192	16,192	16,192	百万円
	説明	店舗活性化推進を図るための一つの指標となる						
	2	店舗レジ客数	11.3	11.4	11.5	11.5	11.5	百万人
	説明	店舗活性化推進を図るための一つの指標となる						

本市施策推進に向けた事業計画③

事業名		地域社会への連携・貢献事業						
指標		①帰宅困難者対策訓練、②チャリティーコンサート						
現状		① 帰宅困難者対策訓練 平成29年度 実施 1回 ② チャリティーコンサート 平成29年度 実施 2回						
行動計画		① 市と連携し、大震災発生時の川崎駅周辺における帰宅困難者による混乱の抑制に向けた避難誘導及び一時滞在施設開設訓練を実施し、行動ルールの検証を行います。 ② 熊本地震及び東日本大震災復興支援を目的としたチャリティーコンサートを開催						
スケジュール		現状値	目標値					単位
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	帰宅困難者対策訓練	1	1	1	1	1	回
	説明	最大震度6強の地震を想定し、川崎駅周辺の帰宅困難者を川崎アゼリアの地下1階を一時滞在施設として提供します。						
2	チャリティーコンサート開催	2	2	2	2	2	回	
説明	川崎市のイメージアップに貢献							

3. 経営健全化に向けた計画

項目名		財務の改善						
指標		有利子負債の削減						
現状		平成30年度から、平成27年度に借入れた6,500百万円の元本返済が開始。金融機関への約定に基づく借入金返済により有利子負債の削減に取り組みます。						
行動計画		約定どおり返済を行い有利子負債の削減に取り組みます。						
		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	有利子負債の削減	9,951	8,796	7,680	6,659	5,780	百万円
	説明	約定返済による借入金残高削減						

4. 業務・組織に関する計画

項目名		法令順守の取組						
指標		コンプライアンスに反する事案の発生件数						
現状		内部統制システムの基本方針を改正、コンプライアンスマニュアルを整備						
行動計画		役員・社員等に対しコンプライアンス遵守を促す取組の実施						
		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件
	説明	会社として法令等順守の徹底を図ります。						

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①施設環境整備事業				
1	<p>計画的な施設・設備の整備・更新</p> <p>算出方法 設備更新機器等の予算概算額に対する執行額の比率による。平成29年/29-33年度の総額:30.8%</p>	30.8%	100.0%	施設・設備の安全・安心・快適性を維持し、高めていくために、劣化診断等に基づいた計画的な設備及び更新を推進することにより、永続的な地下街、駐車場の川崎市民等の顧客への良好なサービス水準を維持する。
2	<p>環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施</p> <p>算出方法 CO2排出量の基準年度との比率を算出する。 CO2排出量:8,983t-co2/7,265t-co2=1.236</p>	CO2排出量 1.236	CO2排出量 0.95	施設整備及び維持管理に当たっては、効率性、経済性を発揮するとともにユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等にも最大限の配慮を払うことにより環境にやさしい施設を目指し、関係法令及び条例に基づき適宜見直しを行い、目標値を設定し直すものとする。
3	<p>通行者数</p> <p>算出方法 平成29年度実績から、周辺環境の変化等を踏まえ平成30年度以降の通行者数を設定した。</p>	291千人	291千人	施設・設備の安全・安心・快適性を維持し、川崎市民等の顧客への良好なサービス水準を維持する。(参考:H26-H29平均273.5千人)
4	<p>駐車台数確保</p> <p>算出方法 公共駐車場の管理・運営による川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車への解消に努めるものとし、年間の利用者数(台数)の確保を目指す。</p>	362台	362台	公共駐車場の管理・運営による川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車への解消に努めるものとし、年間の利用者数(台数)の維持を目指す。(参考:H26-H29平均364台)
5	<p>事業別の行政サービスコスト(①~③事業合計)</p> <p>算出方法 直接事業費-直接自己収入</p>	185,230千円	203,457千円	引き続き、収支改善の取組を計画的に進める。(参考:H26-H29平均161,961千円)
②店舗活性化推進事業				
1	<p>店舗売上高</p> <p>算出方法 平成29年度実績から、周辺環境の変化等を踏まえ平成30年度以降の店舗売上高を設定した。</p>	15,910百万円	16,192百万円	現状の継続実施を基本とし、日々の店舗管理、店舗指導を的確に行うことでより一層の売上増を目指す。また、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、施設全体の活性化を推進するとともに、店舗売上の向上を図る。さらに、効果的なプロモーションの展開により各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進する。(参考:H26-H29平均14,136百万円)

2	店舗レジ客数	店舗活性化推進を図るための一つの指標となる	11.3百万人	11.5百万人	現状の継続実施を基本とし、日々の店舗管理、店舗指導を的確に行うことでより一層の店舗レジ客数増を目指す。また、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、施設全体の活性化を推進するとともに、店舗レジ客数の向上を図る。さらに、効果的なプロモーションの展開により各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進する。(参考:H26-H29平均 9.6百万人)
	算出方法				
③地域社会への連携・貢献事業					
1	帰宅困難者対策訓練	市と連携し、大震災発生時の川崎駅周辺における帰宅困難者による混乱の抑制に向けた避難誘導及び一時滞在施設開設訓練を実施する。	1回	1回	「大規模地震に伴う帰宅困難者対策のガイドライン」(内閣府[防災担当]) 2. 一時滞在施設の運営の準備(平常時) (3)年1回以上の訓練等による定期的な手順の確認と改善による。
	算出方法				
2	チャリティーコンサート開催	地域社会への連携・貢献事業推進を図るための一つの指標となる。	2回	2回	現状の継続実施を基本とし、地域社会への連携・貢献のため、熊本地震及び東日本大震災復興支援を目的としたチャリティーコンサートの開催を開催する。
	算出方法				
経営健全化に向けた事業計画					
指標		指標の考え方	現状値 平成29(2017)年度	目標値 平成33(2021)年度	目標値の考え方
①財務の改善					
1	有利子負債の削減	有利子負債残高は、企業の財務状態の安全性分析において重要な指標の一つとして位置づけられており、約定に基づき着実な返済をすすめる。	9,951百万円	5,780百万円	設備更新等において可能な限り自己資金の範囲内で対応することとし、既有利子負債の削減(返済)に努める。
	算出方法				
業務・組織に関わる計画					
指標		指標の考え方	現状値 平成29(2017)年度	目標値 平成33(2021)年度	目標値の考え方
①業務・組織の改革					
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	コンプライアンスを徹底するため、コンプライアンスマニュアルを制定し、毎年、役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認を行う	0件	0件	会社として、コンプライアンスに関する意識の維持向上を図り、コンプライアンスに反する事案発生を防止する。(参考:H26-H29実績 0件)
	算出方法				

資金計画表

[平成30年度～平成33年度]

法人名: 川崎アゼリア株式会社

(単位:千円)

項目			決算	予算	計画		
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常収支	収入	事業収入	3,200,553	3,224,000	3,245,000	3,245,000	3,245,000
		事業外収入	258,570	189,000	189,000	189,000	189,000
		経常収入合計	3,459,123	3,413,000	3,434,000	3,434,000	3,434,000
	支出	事業費	3,598,627	3,653,000	3,666,000	3,640,000	3,646,000
		事業外費用	291,433	197,000	170,000	152,000	134,000
		減価償却実施額	△ 1,466,012	△ 1,497,000	△ 1,498,000	△ 1,506,000	△ 1,491,000
		法人税等支払	950	1,000	1,000	1,000	1,000
経常支出合計	2,424,998	2,354,000	2,339,000	2,287,000	2,290,000		
経常収支			1,034,125	1,059,000	1,095,000	1,147,000	1,144,000
投資収支	固定資産取得支出	△ 204,000	△ 229,000	△ 162,000	△ 162,000	△ 162,000	
	その他	△ 24,000	△ 24,000	△ 54,000	△ 54,000	△ 54,000	
	投資等収支	△ 228,000	△ 253,000	△ 216,000	△ 216,000	△ 216,000	
財務収支	借入れによる収入	0	0	0	0	0	
	借入金償還による支出	△ 728,800	△ 1,156,000	△ 1,116,000	△ 1,021,000	△ 880,000	
	その他	△ 151,000	△ 31,000	△ 31,000	△ 31,000	△ 31,000	
	財務収支	△ 879,800	△ 1,187,000	△ 1,147,000	△ 1,052,000	△ 911,000	
現金預金増加高			△ 73,675	△ 381,000	△ 268,000	△ 121,000	17,000
期首現金預金			1,042,776	969,101	588,101	320,101	199,101
期末現金預金			969,101	588,101	320,101	199,101	216,101